山 梨 県 商工会地区

中小企業景況調查報告書

[平成26年7月~9月実績] 平成26年10月~12月予測]



山梨県商工会連合会

目 次

| Ι | 調 | 査 | 要 | 領 | •••• | ••••• | | 1 |
|---|----|-----|-------------|-----|---------|-------|------|----|
| П | 景 | | | 況 | | | | |
| | 1. | 産美 | 美全 位 | 体の業 | | 斑観 | | 2 |
| | 2. | 製造 | き業の | 動向 | ı] | | | |
| | | (1) | 景 | 況 | 概 | 観 | | 3 |
| | | (2) | 主な | 項目 | でる | ょる業 | | 3 |
| | 3. | 建設 | と業の | 動向 | i] | | | |
| | | (1) | 景 | 況 | 概 | 観 | | 6 |
| | | (2) | 主な | 項目 | でる | ょる業 | | 6 |
| | 4. | 小売 | 売業の | 動向 | ı] | | | |
| | | (1) | 景 | 況 | 概 | 観 | | 9 |
| | | (2) | 主た | 項目 | でみ | ょる業 | | 9 |
| | 5. | サー | - ビフ | (業の | 動向 |] | | |
| | | (1) | 景 | 況 | 概 | 観 | | 12 |
| | | (2) | 主た | 項目 | でる | ょる業 | | 12 |

【I】調查要領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第2四半期 平成26年7月~9月期 「調査時点:平成26年9月1日」

3. 調 査 方 法

県下の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業(モニター企業)の商工会別、業種内訳

| | 商工会名 | | 製 造 業 | 建設業 | 小 売 業 | サービス業 | ill |
|---|------|---|-------|-----|-------|-------|----------------|
| 都 | 留 | 市 | 3 | 2 | 3 | 4 | 1 2 |
| 山 | 梨 | 市 | 1 | 2 | 2 | 3 | 8 |
| 大 | 月 | 市 | 2 | 1 | 3 | 2 | 8 |
| 韮 | 崎 | 市 | 2 | 2 | 1 | 2 | 7 |
| 南 | アルプス | 市 | 3 | 2 | 4 | 6 | 1 5 |
| 北 | 杜 | 市 | 4 | 2 | 5 | 4 | 1 5 |
| 甲 | 斐 | 市 | 4 | 3 | 5 | 2 | 1 4 |
| 笛 | 吹 | 市 | 3 | 2 | 4 | 6 | 1 5 |
| 上 | 野 原 | 市 | 2 | 1 | 2 | 2 | 7 |
| 甲 | 州 | 市 | 3 | 1 | 2 | 3 | 9 |
| 中 | 央 | 市 | 2 | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 市 | 川三郷 | 町 | 2 | 1 | 1 | 2 | 6 |
| 身 | 延 | 町 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 |
| 南 | 部 | 町 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| 富 | 士 川 | 町 | 1 | 1 | 1 | 2 | 5 |
| 昭 | 和 | 町 | 1 | 1 | 3 | 3 | 8 |
| 西 | 桂 | 町 | 0 | О | 1 | 1 | 2 |
| 南 | 都留中 | 部 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 |
| 河 | П | 湖 | 1 | 1 | 6 | 5 | 1 3 |
| | 計 | | 3 7 | 2 5 | 5 0 | 5 3 | 1 6 5 |

5. その他

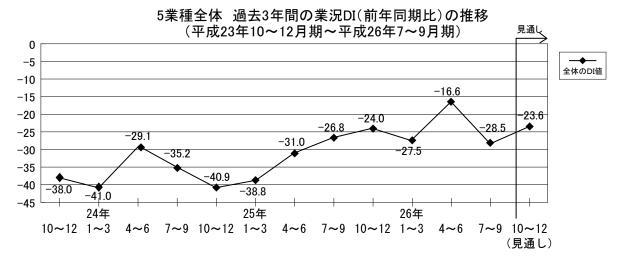
- ①本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目 について前年同期と比較して、増加(上昇、好転、長期化等)とする企業割合と、逆に減少(低 下、悪化、短期化等)とする企業割合の差を示すものである。
- ②次頁【II】 1. 産業全体の業況概観・・・については、商工会調査企業ばかりでなく、他の本県経済団体調査企業(卸売業を含む)を含んだ 2 8 6 サンプルによるものである。

【Ⅱ】景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみてみる。 まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。業況判断DIは、前期の ▲16.6から今期は▲28.5(▲11.9)へ大幅に悪化している。

ただし、来期については、▲ 23.6 (+ 4.9) とやや改善する見通しとなっている。

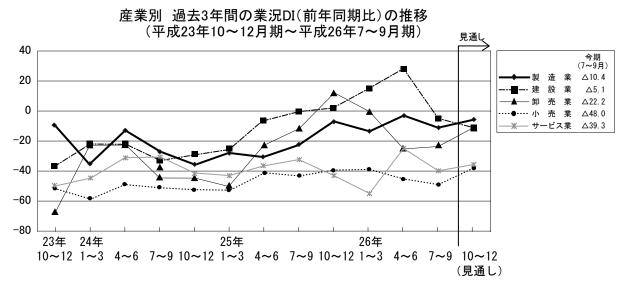


次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

卸売業を除く、全ての業種で悪化している。

その内訳は、製造業が前期の \blacktriangle 2.6 から今期は \blacktriangle 10.4 (\blacktriangle 7.8) へ、建設業が前期の 28.9 から今期は \blacktriangle 5.1 (\blacktriangle 34.0) へ、小売業が前期の \blacktriangle 45.2 から今期は \blacktriangle 48.0 (\blacktriangle 2.8) へ、サービス業が前期の \blacktriangle 24.4 から今期は \blacktriangle 39.3 (\blacktriangle 14.9) へ悪化している。

一方、卸売業が前期の▲ 25.0 から今期は▲ 22.2 (+ 2.8) へ改善している。 ただし、来期については、建設業を除く全ての業種で改善する見通しとなっている。



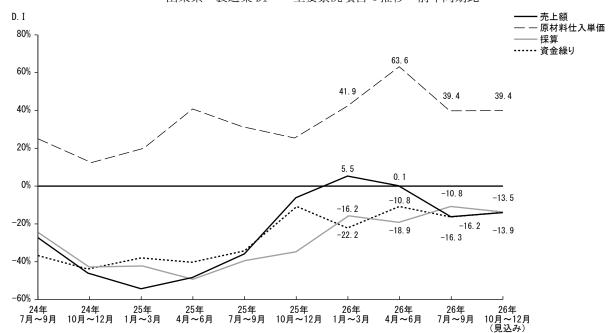
【注記】上記、産業全体の業況概観については、県内経済団体が調査した286企業の回答に基づく県内全体の業況DIである。なお、次ページ以降は、商工会が調査した165企業(全て小規模企業)の回答に基づく商工会エリア(甲府市・富士吉田市地域を除く)の業種別景況DI等の詳細である。

2. 製 造 業 の 動 向

(1) 景 況 概 観

売上額DIについては、前期の0.1から今期は▲16.3(▲16.4)へ悪化している。来期の見通しは、や や改善して▲ 13.5 となっている。原料仕入単価DIは、前期の 63.6 から今期は 39.4(▲ 24.2)へ低下(改善) している。来期の見通しは、39.4と横ばい。採算DIは、前期の▲18.9から今期は▲10.8(+8.1)へ改 善している。一方、来期の見通しは、▲ 13.9 とやや悪化している。資金繰りDIは、前期の▲ 10.8 から今 期は▲ 16.2(▲ 5.4)へ悪化している。一方、来期の見通しは、▲ 13.5 とやや改善している。

今期は、原料仕入単価 DI、採算 DI に改善がみられた一方、売上額 DI、資金繰り DI は悪化しており、来 期についても、大きな変化はない(ほぼ横ばい)。

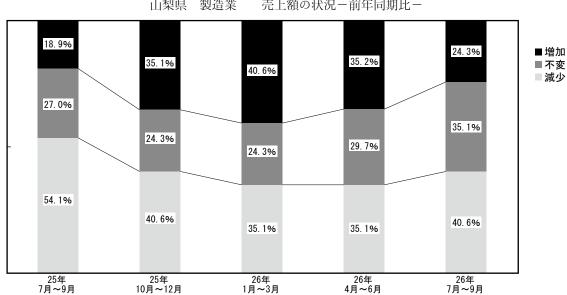


山梨県 製造業 DI 主要景況項目の推移-前年同期比-

(2) 主な項目で見る業況

① 売上額 (売上額 DI の内容 (回答企業数 37 社))

「増加」と答えた企業の割合は前期の35.2%(13社)から今期は24.3%(9社)へ減少(▲10.9%)、 一方「不変」は前期の29.7%(11社)から今期は35.1%(13社)へ増加(+5.4%)している。 「減少」は前期の35.1%(13社)から今期は40.6%(15社)へ増加している。



山梨県 製造業 売上額の状況-前年同期比-

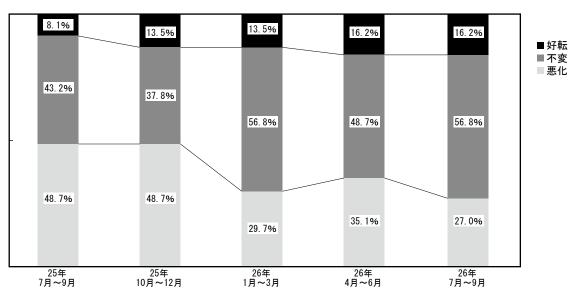
② 採 算 (採算 DI の内容 (回答企業数 37 社))

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は前期の16.2%(6社)から横ばいとなっている。

「不変」は、前期の48.7%(18社)から今期は56.8%(21社)へ増加(+8.1%)している。

一方、「悪化」について、前期の35.1%(13社)から今期は27.0%(10社)へ減少(▲8.1%)している。

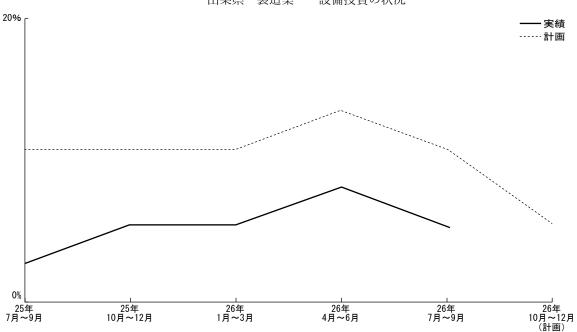


山梨県 製造業 採算の状況-前年同期比-

③ 設備投資(直近1年間における設備投資の状況(回答企業数37社))

今期において、設備投資を行った企業の割合は 5.4% (2 社) であった(前期比 \triangle 2.7%)。その設備投資の内容は、「生産設備」 2 件、「土地」、「工場建物」が 1 件ずつであった。

来期の計画については、5.4%(2 社)の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」、「O A機器」、「その他」が 1 件ずつになる。

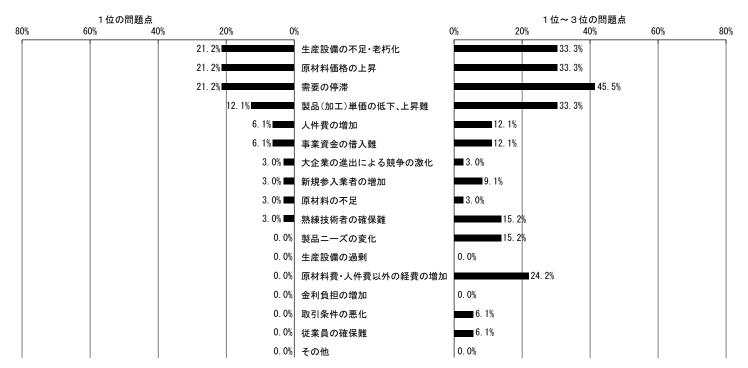


山梨県 製造業 設備投資の状況

④ 経営上の問題点(回答企業数33社)

経営上の問題点として、1番目に多かったのは、「生産設備の不足・老朽化」、「原材料価格の上昇」、「需要の停滞」で、ともに21.2%(7社))であり、次に多かったのは、「製品(加工)価格単価の低下、上昇難」で12.1%(4社)になる。

次に、「1位~3位」に挙げられたものをみると、1番目に多かったのは、「需要の停滞(45.5%)」(15社)であり、2番目に多かったのは、「生産設備の不足・老朽化」、「原材料価格の上昇」、「製品(加工)価格単価の低下、上昇難」(ともに33.3%(11社))になる。「原材料・人件費以外の経費の増加(24.2%)」(8社)も目立つ。



山梨県 製造業 経営上の問題点の状況

⑤ 回答企業の内訳

業種別

| ************************************* | | |
|---------------------------------------|-----|--------|
| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
| 食料品製造業 | 5 | 14 |
| 飲料・飼料・たばこ製造業 | 1 | 3 |
| 衣服・その他繊維製品製造業 | 1 | 3 |
| 印刷•同関連業 | 2 | 5 |
| 化学工業 | 2 | 5 |
| プラスチック製品製造業 | 4 | 11 |
| 金属製品製造業 | 2 | 5 |
| 一般機械器具製造業 | 12 | 32 |
| 電気機械器具製造業 | 2 | 5 |
| 輸送用機械器具製造業 | 1 | 3 |
| その他製造業 | 5 | 14 |
| 合 計 | 37 | 100 |

従業員規模別

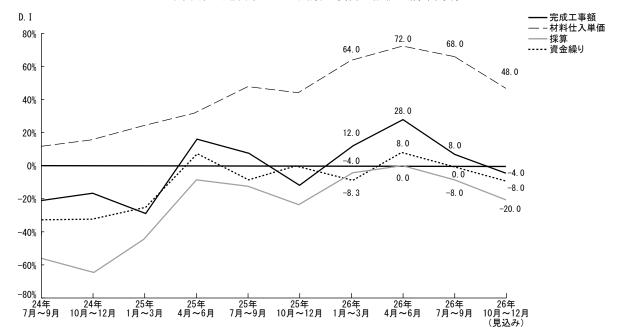
| VENESCIPEDOS 1 | | | | | | |
|----------------|-------|-----|--------|-----|--------|--|
| | 雇用形態 | 常 | 雇い | 臨時 | 持舎む | |
| 従業員数 | | 企業数 | 構成比(%) | 企業数 | 構成比(%) | |
| | 2人以下 | 23 | 62. 2 | 19 | 51.4 | |
| 3人~ | ~5人以下 | 6 | 16. 2 | 5 | 13. 5 | |
| 6人~ | 10人以下 | 4 | 10.8 | 8 | 21.6 | |
| 1 1 人~: | 20人以下 | 4 | 10.8 | 5 | 13. 5 | |
| 合 | 計 | 37 | 100 | 37 | 100 | |

3. 建 設 業 の 動 向

(1) 景 況 概 観

完成工事額DIについては、前期の28.0から今期は8.0(▲20.0)へ悪化している。また、来期の見通 しも▲4.0 へ悪化している。材料仕入単価DIは、前期の72.0 から今期は68.0 (▲4.0) へ低下(改善) している。来期の見通しも、48.0 へ低下(改善)している。採算DIは、前期の0.0から今期は▲8.0 (▲ 8.0) へ悪化している。来期の見通しも、▲ 20.0 へ悪化している。資金繰りDIは、前期の8.0 から今期は 0.0 (▲ 8.0) へ悪化している。来期の見通しも、▲ 8.0 へ悪化している。

今期は、材料仕入単価DIを除く全ての項目で悪化しており、来期についても同様の見通しとなっている。

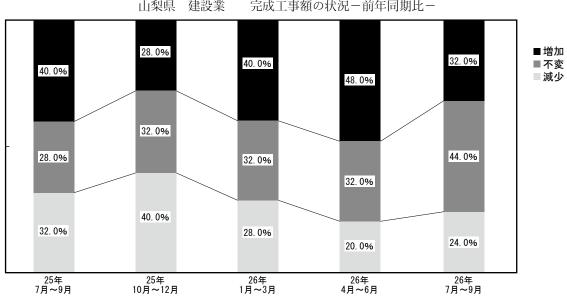


山梨県 建設業 主要景況項目の推移-前年同期比-

(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額(回答企業数25社)

「増加」と答えた企業の割合は前期の48.0%(12社)から今期は32.0%(8社)へ減少(▲16.0%)し ている。一方、「不変」は前期の 32.0% (8 社) から今期は 44.0% (11 社) へ増加 (+ 12.0%)、「減少」 は前期の20.0%(5社)から今期は24.0%(6社)へ増加(+4.0%)している。

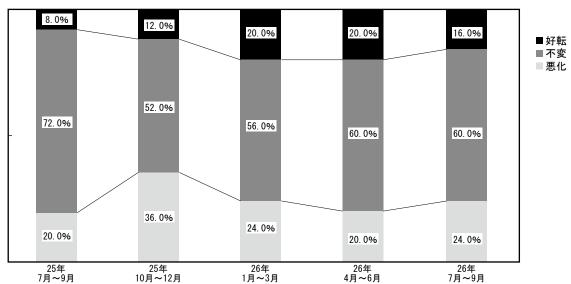


山梨県 建設業 完成工事額の状況-前年同期比-

② 採 算 (採算 DI の内容 (回答企業数 25 社))

「好転」と答えた企業の割合は前期の 20.0% (5 社) から今期は 16.0% (4 社) へ減少 (▲ 4.0%) している。 「不変」は、前期と変わらず 60.0% (15 社) となっている。

一方、「悪化」については、前期の20.0%(5社)から今期は24.0%(6社)へ増加(+4.0%)している。

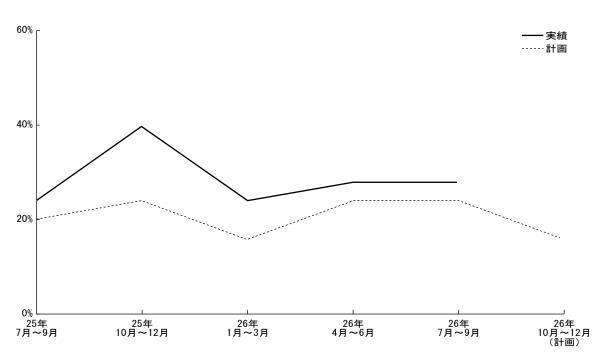


山梨県 建設業 採算の状況-前年同期比-

③ 設備投資(直近1年間における設備投資の状況(回答企業数25社))

今期において、設備投資を行った企業の割合は 28.0% (7社) であった (前期比± 0.0%)。その設備 投資の内容は、「車両・運搬具」4件、「0A機器」2件、「建設機械」、「その他」が1件ずつであった。 来期の計画については、16.0% (4社) の企業が予定している。その設備投資の内容は、「建物」、「建

表別の計画に J い とは、16.0% (4社) の企業が J 足 し といる。 その設備 反頁の内容は、「建物」、「 設機械」、「車両・運搬具」、「0A機器」、「その他」が 1件ずつとなっている。

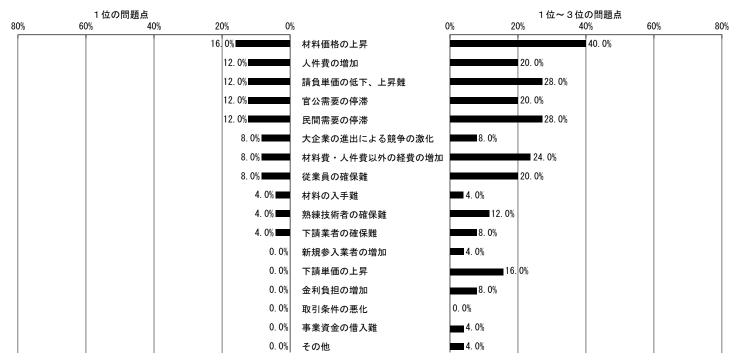


山梨県 建設業 設備投資の状況

④ 経営上の問題点(回答企業数25社)

経営上の問題点として、1番目に多かったのは、「材料価格の上昇(16.0%)」(4社)であり、2番目に「人件費の増加」、「請負単価の低下、上昇難」、「官公需要の停滞」、「民間需要の停滞」(ともに、12.0%(3社))となっている。

次に、「1位~3位」に挙げられたものをみると、1番目に多かったのは、「材料価格の上昇(40.0%)」(10社)であり、2番目に多かったのは、「請負単価の低下、上昇難」、「民間需要の停滞」(ともに、28.0%(7社))となっている。そのあと、「原材料・人件費以外の経費の増加(24.0%)」(6社)、「官公需要の停滞」、「従業員の確保難」(ともに、20.0%(5社))が続く。



山梨県 建設業 経営上の問題点の状況

(5) 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|-------|-----|--------|
| 総合工事業 | 18 | 72 |
| 職別工事業 | 4 | 16 |
| 設備工事業 | 3 | 12 |
| 合 計 | 25 | 100 |

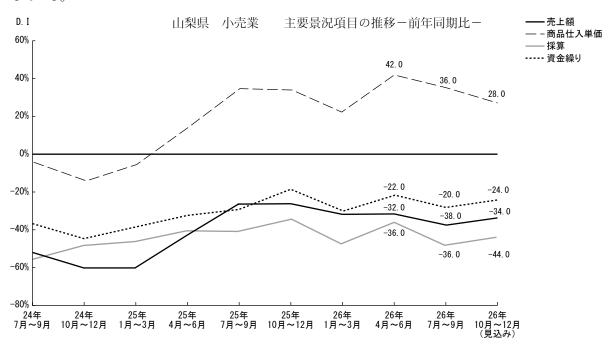
従業員規模別

| | 雇用形態 | 常 | 雇い | 臨時 | 持舎む |
|-------|--------|-----|--------|-----|--------|
| 従業員数 | | 企業数 | 構成比(%) | 企業数 | 構成比(%) |
| | 2人以下 | 9 | 36. 0 | 8 | 32. 0 |
| 3人~ | - 5人以下 | 7 | 28. 0 | 8 | 32.0 |
| 6人~1 | . 0人以下 | 4 | 16.0 | 4 | 16.0 |
| 11人~2 | 20人以下 | 5 | 20.0 | 5 | 20.0 |
| 合 | 計 | 25 | 100 | 25 | 100 |

4. 小 売 業 の 動 向

(1)景 況 概 観

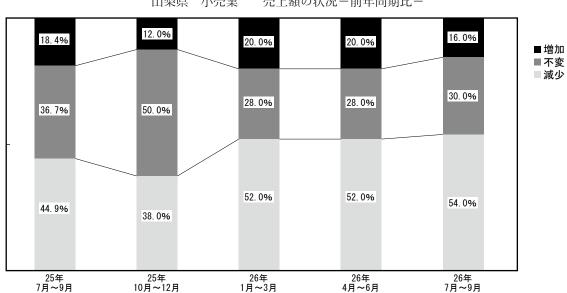
売上額DIについては、前期の▲32.0から今期は▲38.0(▲6.0)へ悪化している。来期の見通しは、 やや改善して▲ 34.0 となっている。商品仕入単価DIは、前期の42.0から今期は36.0(▲ 6.0)へ低下(改 善)している。来期の見通しは、28.0 へ更に低下(改善)している。採算DIは、前期の▲ 36.0 から今期 は▲48.0 (▲12.0) へ悪化している。来期の見通しは、▲44.0 とやや改善している。資金繰りDIは、前 期の▲ 22.0 から今期は▲ 28.0(▲ 6.0)へ悪化している。来期の見通しは、▲ 24.0 とやや改善している。 今期は、商品仕入単価DIを除く全ての項目で悪化しているものの、来期の見通しは、全ての項目で改善 している。



(2) 主な項目で見る業況

① 売上額(回答企業数50社)

「増加」と答えた企業の割合は前期の20.0%(10社)から今期は16.0%(8社)へ減少している。 一方、「不変」については前期の28.0%(14社)から今期は30.0%(15社)へ、「減少」については前 期の52.0%(26社)から今期は54.0%(27社)と増加している。

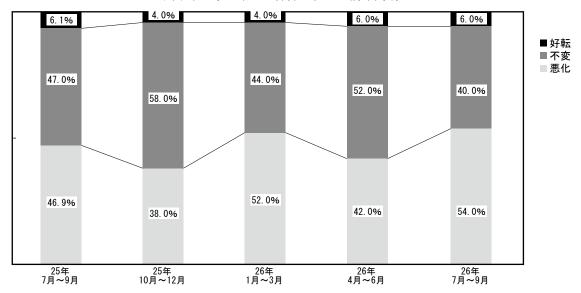


山梨県 小売業 売上額の状況-前年同期比-

② 採 算 (採算 DI の内容 (回答企業数 50 社))

「好転」と答えた企業の割合は前期と変わらず6.0%(3社)となっている。

「不変」については、前期の 52.0% (26 社) から今期は 40.0% (20 社) へ減少 (▲ 12.0%) している。 一方、「悪化」については、前期の 42.0% (21 社) から今期は 54.0% (27 社) へ増加している。

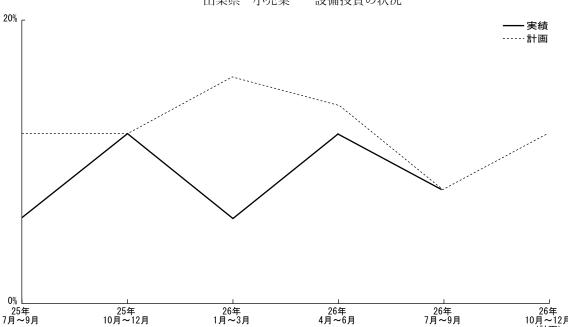


山梨県 小売業 採算の状況-前年同期比-

③ 設備投資(直近1年間における設備投資の状況(回答企業数50社))

今期において、設備投資を行った企業の割合は 8.0% (4 社) であった (前期比 4.0%)。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」、「OA 機器」が 2 件ずつ、「土地」、「店舗」、「販売設備」、「その他」が 1 件ずつであった。

来期の計画については、12.0%(6 社)の企業が予定している。その設備投資の内容は、「販売設備」、「車両・運搬具」、「その他」が 2 件ずつ、「店舗」、「OA 機器」が 1 件ずつになる。

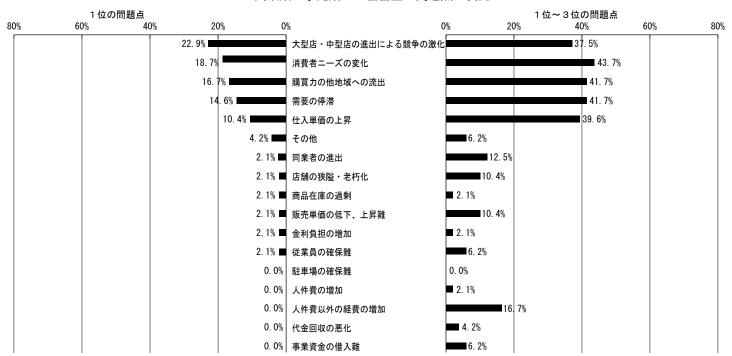


山梨県 小売業 設備投資の状況

④ 経営上の問題点(回答企業数48社)

経営上の問題点として、1番目に多かったのは「大型店・中型店の進出による競争の激化 (22.9%)」(11社)、2番目に多かったのは、「消費者ニーズの変化 (18.7%)」(9社)、次に、「購買力の他地域への流出 (16.7%)」(8社) と続く。

次に、「1位~3位」に挙げられたものをみると、1番目に多かったのは、「消費者ニーズの変化 (43.7%)」(21社) であり、2番目に多かったのは、「購買力の他地域への流出」、「需要の停滞」(ともに、41.7% (20社))、次に、「仕入単価の上昇 (39.6%)」(19社)、「大型店・中型店の進出による競争の激化 (37.5%)」(18社) と続く。



山梨県 小売業 経営上の問題点の状況

(5) 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|----------------|-----|--------|
| 織物・衣服・身の回り品小売業 | 11 | 22 |
| 飲食料品小売業 | 17 | 36 |
| 自動車・自転車小売業 | 3 | 6 |
| 家具・建具・じゅう器小売業 | 5 | 10 |
| その他小売業 | 14 | 26 |
| 合 計 | 50 | 100 |

従業員規模別

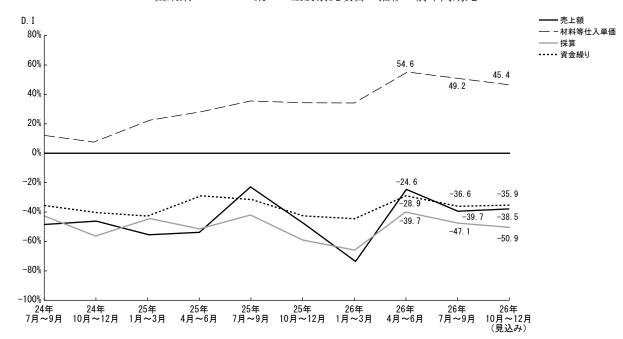
| N W D W | 雇用形態 | 常 | 雇い | 臨時 | 等含む |
|---------|------|-----|--------|-----|--------|
| 従業員数 | | 企業数 | 構成比(%) | 企業数 | 構成比(%) |
| | 2人以下 | 45 | 90.0 | 40 | 80.0 |
| 3人~ | 5人以下 | 5 | 10.0 | 10 | 20.0 |
| 合 | 計 | 50 | 100 | 50 | 100 |

5. サービス業の動向

(1)景 況 概 観

売上額DIについては、前期の▲24.6から今期は▲39.7(▲15.1)へ悪化している。一方、来期の見通 しは、▲ 35.9 とやや改善している。材料等仕入単価D I は、前期の 54.6 から今期は 49.2 (▲ 5.4) へ低下(改 善)している。来期の見通しは、45.4 へ更に低下(改善)している。採算DIは、前期の▲ 39.7 から今期 は▲47.1 (▲7.4) へ悪化している。来期の見通しは、▲50.9 へ更に悪化している。資金繰りDIは、前 期の▲ 28.9 から今期は▲ 36.6(▲ 7.7)へ悪化している。来期の見通しは、▲ 38.5 と更に悪化している。 今期は、材料等仕入単価DIを除く全ての項目で悪化している。来期の見通しは、売上額DIがやや改善

するものの、採算DI、資金繰りDIは更に悪化している。



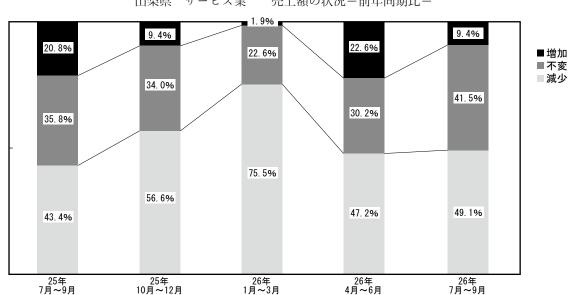
山梨県 サービス業 主要景況項目の推移-前年同期比-

(2) 主な項目で見る業況

① 売上額(回答企業数53社)

「増加」と答えた企業の割合は前期の22.6%(12社)から今期は9.4%(5社)へ減少(▲13.2%)、一方、 「不変」は前期の30.2%(16社)から今期は41.5%(22社)へ増加(+11.3%)している。

「減少」は前期の47.2%(25社)から今期は49.1%(26社)となっている。

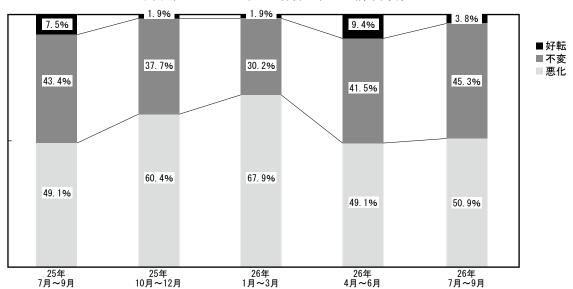


山梨県 サービス業 売上額の状況-前年同期比-

② 採 算 (採算 DI の内容 (回答企業数 53 社))

「好転」と答えた企業の割合は前期の 9.4% (5 社) から今期は 3.8% (2 社) へ減少 (▲ 5.6%)、また、「不変」は、前期の 41.5% (22 社) から今期は 45.3% (24 社) へ増加 (+ 3.8%) している。

「悪化」については、前期の49.1%(26社)から今期は50.9%(27社)へ増加(+1.8%)している。

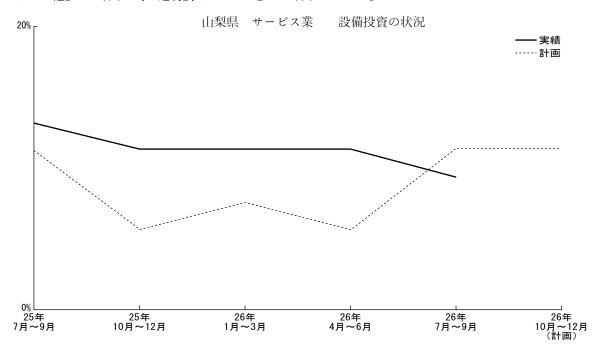


山梨県 サービス業 採算の状況-前年同期比-

③ 設備投資(直近1年間における設備投資の状況(回答企業数53社))

今期において、設備投資を行った企業の割合は 9.4% (5 社) であった (前期比▲ 1.9%)。その設備投資の内容は、「付帯施設」3 件、「O A 機器」2 件、「建物」、「サービス」、「車両・運搬具」、「福利厚生施設」が 1 件ずつであった。

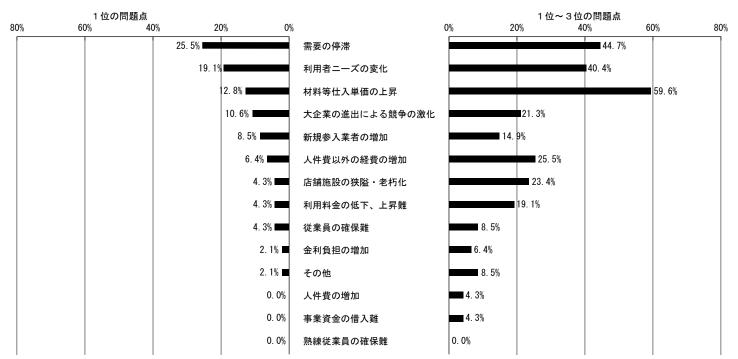
来期の計画については、11.3%(6 社)の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」、「その他」が 2 件ずつ、「建物」、「サービス」が 1 件ずつになる。



④ 経営上の問題点(回答企業数47社)

経営上の問題点として、1番目に多かったのは、「需要の停滞(25.5%)」(12社)、2番目に多かったのは「利用者ニーズの変化(19.1%)」(9社)、3番目は「材料等仕入単価の上昇(12.8%)」(6社)と続く。

次に、「1位~3位」に挙げられたものをみると、1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇 (59.6%)」(28社) であり、「需要の停滞 (44.7%)」(21社) や「利用者ニーズの変化 (40.4%)」(19社) を上回っている。



山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況

⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種 | 企業数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 一般飲食店(一般•遊興) | 19 | 36 |
| 宿泊業 | 8 | 15 |
| 運送業 | 2 | 4 |
| 自動車整備業 | 3 | 6 |
| 洗濯・理美容業 | 16 | 30 |
| その他のサービス業 | 5 | 9 |
| 合 計 | 53 | 100 |

従業員規模別

| | 雇用形態 | 常 | 雇い | 臨時 | 持等含む |
|------|------|-----|--------|-----|--------|
| 従業員数 | | 企業数 | 構成比(%) | 企業数 | 構成比(%) |
| | 2人以下 | 44 | 83. 0 | 40 | 75. 5 |
| 3人~ | 5人以下 | 9 | 17.0 | 13 | 24. 5 |
| 合 | 計 | 53 | 100 | 53 | 100 |